広島平和記念式典小中学生派遣事業

～平和の尊さを伝えるために～

8月5日・6日、ことしも市内小中学生33人の派遣団が広島を訪れ、安田女子高等学校、原爆ドームや広島平和記念資料館を見学し、広島平和記念式典に参列しました。被爆70年目の広島で小中学生が感じたこととは。

被爆70年の節目の年、広島平和記念式典には海外からも過去最多の代表が出席し、犠牲者を悼みました。全国の被爆者の平均年齢は80歳を越え、被爆者だけでなく、実際に戦争を体験した方々の平均年齢も上がり、体験談を聞くことが難しくなっています。

しかし、戦争の悲惨な状況を多くの人に伝えることが、次世代に平和を引き継ぐことにつながります。

磐田市は平成22年度から「広島平和記念式典中学生派遣事業」をスタートし、4回目からは小学生の代表が加わり、本年度で6回目を迎えました。

広島平和記念式典に参加した小中学生は、今回の体験で感じたことを誰にどう伝えているのでしょうか。

ラジオ番組で伝える

平和記念式典に参列した小中学生の代表二人が8月14日㈮「磐田市情報館発！磐田情報局（SBSラジオ）」に出演し、広島で感じた平和への思いを全県に向けて語りました。

二人は、この経験を学校の友達にもしっかりと伝えていきたいと力強く話してくれました。

平和祈念式で伝える

8月15日㈯、市民文化会館で磐田市平和祈念式が行われました。小中学生派遣団を代表して**磐田東中学校の阿部史希（ふみき）さん**が「平和への想い」として自分たちが伝えていくことの大切さと決意を述べました。

式典に参加して、あらためて原爆の恐ろしさを感じました。原爆はたくさんの人の命を奪うので、戦争は絶対にしてはいけないと思いました

服部葵（あおい）さん（磐田第一中）

被害者の遺族の方々や原爆の後遺症に苦しみながら生きているお年寄りなどの参列者の思いを想像し、もう二度と戦争をしてはいけない、核兵器が使われてはいけないと思いました

小林夢冬（しずと）さん（磐田西小）

今もなお、世界のどこかで戦争は行われています。戦争をやって何か良いことがありましたか？僕は何もないと思います。戦争は人の命を簡単に奪ってしまうものです。そんな戦争を今現在行っている国、これから「戦争」で物事を解決しよ

※**被爆桜**・・・広島市の安田女子高等学校で生き続ける、原爆の被爆樹木に認定された貴重な桜。被爆地では75年間は草木も生えないと言われた中、翌年の春に花を満開に咲かせた。同校生徒会が接ぎ木で増やし、桜の命を後世に伝えている。

うと考えている国は、もう一度考え直すべきではないでしょうか。僕はかつての日本のような悲惨な歴史を繰り返したくないです。今、僕たちが平和に暮らしていることは当たり前のことではありません。争いのない平和な世界をつくるのは、決して簡単なことではありません。しかし諦めたら終わりです。そのためにも戦争を知らない僕のような若い世代の人たちにも、昔何があったのかを、しっかり伝えていかなければならないと思います

学校で伝える

ラジオ番組や平和祈念式だけではなく、派遣団の小中学生はそれぞれの学校の始業式や全校集会などの場で広島での体験を報告します。学校で伝えるために、彼らは広島で見たことや聞いたことを書き留め、写真に残しました。彼らは、この2日間で経験したこと感じたことを通して、戦争や原爆の惨劇、平和の尊さを学校の仲間に自分の言葉で伝えるのです。

中学生は戦争を歴史の勉強の一つと考えている人が多いと思います。しかし今でも原爆の被害に苦しんでいる被爆者や遺族の方がいるということ、そして私たちがこうして学校生活を送れるというありがたさを感じてもらいたいです

森島妹加（まいか）さん（向陽中）

伝えることの大切さ

広島市の安田女子高等学校では、※被爆桜の命を後世に伝えるため「接（つ）ぎ木」で苗木を育て、全国の学校や団体に届けています。被爆桜は、見る人すべてに、生命の力強さと平和へのメッセージを感じさせてくれます。また、平和記念公園では、中高生たちが核兵器廃絶のための署名活動を行っていました。これも平和の尊さを伝えるために、広島の中高生が行っている活動です。

磐田の派遣団33人は、ことし広島で、**今ある平和は当たり前ではない**ことに気付きました。彼らは「学校のみんな、先生、家族、自分よりも小さな子どもたち、原爆のことを知らない人たち、世界中の人たちに平和へのメッセージを伝えたい」と応えてくれました。

この派遣事業は、未来を担う子どもたちに「平和」の大切さをあらためて感じてもらうことにあります。彼らは広島で学んだ戦争の悲惨さや平和の尊さを周りにしっかりと伝えてくれるはずです。多くの人々が伝えてきた平和への思いを次代へと引き継ぐために。

被爆桜の苗木の前で

平和記念資料館で原爆について学ぶ小学生

広島平和記念式典に参列

感じた思いをラジオの電波に乗せて発信

『平和祈念式』で
力強く語る平和への想い